

とうねし



初 茜

元旦には大磯港や平塚海岸で初めての茜色を善男善女と共に拝みます。

フォトサークルA 蠣崎（かきざき）武広

●目次

初 茜	1P	歳時一覧	5P
新年のごあいさつ 理事長 野村 直樹 院長 山下 巖	2P	かけはし ～登録医紹介～ ふるさと巡り 患者さんの声	6P
リハビリ通信「心不全」 第2事業部 「こんな時だからこそ、マザーホーム体操教室!!」	3P	マンモグラフィセンター 働く仲間	7P
がん相談支援センターをご存じですか? がん総合外来	4P	ペットのはなし 編集後記 関連施設一覧	8P



あけましておめでとうございます



三思会 理事長
野村 直樹

創設40周年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。

昨年は世界中が新型コロナウイルスで始まり、終わった年でありました。人が作ってきた歴史、生業、尊厳等をことごとく覆され苦渋の年でありましたが、人社会の弱点を見直す年でもあったとも思います。幸い日本は愚直な国民性と隔離された島国であることよって大きなパンデミックには至っていません。また今年にはワクチン接種が始まり期待のあるところですが、まだ不確実な環境にあることは間違いなく、十分な感染予防対策を今後も継続していかねばなりません。

本年、当法人はおかげさまで創立40周年を迎えます。皆様に支えられ、共に厚木市をベースとした地域医療、地域福祉を心して尽力してまいりました。救急医療、がん治療等の急性期医療から生活習慣病対策、健診等の予防医療、そして超高齢化社会に對峙すべく複数の介護施設、透析医療の拡充、在宅医療の推進等を行ってきました。厚木市が推進する地域包括ケア社会にも地域の一員としてしっかりと参画させていただいております。

昨年は、新型コロナウイルスによってさまざまな社会活動も停止せざるを得なくなり、我々が担うべく社会保障の一端としての活動も一部休止した状態ではありますが、今年からは始動に向け尽力いたします。地域の皆様の命と健康を守るという基本的役割を改めて確認し、活動してまいります。

昨年、東名厚木病院は神奈川県が診療連携指定病院格をいただきました。県中央医療圏（厚木市、愛川町、清川村、海老名市、座間市、綾瀬市、大和市）で唯一の指定病院となり、これまで遠方で治療に通っていた方々にも当地域で対応できる体制となりました。今では逆に遠方より紹介いただく患者様も増えていきます。超高齢化社会における集学的ながん治療の拠点としての機能をしっかりと担保していきたいと思えます。またコロナ禍において学んだ経験をもとに、さらなる感染症等に対する準備を進めるとともに、さらに加速された社会のIT化、効率化にも乗り遅れることなく慎重に進めていきます。

自然環境、社会環境は地球レベルで急速に変化してきていると感じています。その中で我々のなすべき責任、役割を着実に推し進めていきたいと思えます。創立40周年を迎えるにあたり、改めて皆様と共に、支えられて発展をできますようお願い申し上げます。新年の言葉とさせていただきます。



東名厚木病院 院長
山下 巖

新年あけましておめでとうございます。

今年はいよいよ心よりお祈りしております。

昨年は念願の神奈川県が診療連携指定病院の指定を受け、放射線治療、がん化学療法、緩和ケア病棟の運用やがん相談支援センター、緩和ケアチーム活動を強化することにより、診断、治療、手術、化学療法、放射線治療、緩和まで、状態にかかわらず加療ができるようになりました。

その矢先に新型コロナウイルス感染症の蔓延の事態となりました。昨年の大半は経験したことのないウイルスに対する感染対策の日々に明け暮れました。当初は診断方法や対策も確立されておらず、予防衣やマスクの供給不足もあり、発熱患者に対して過度な対応を余儀なくされました。

医師会、行政との綿密な話し合いを頻回に行い、当院の新型コロナウイルスに対する地域での立つ位置、役割を確認し、対応について院内でも頻回の話し合いを持ちました。その後、感染予防に対するガイドラインが具体的になり、マスクを含めた予防衣の十分な確保、PCR検査や抗原検査の院内での迅速な検査の確立、院内対応マニュアルの周知などにより従来に近い診療活動ができるようになっていきます。

本年は、創立40周年の区切りの年となります。新型コロナウイルス蔓延の中、新年を迎えますが、当院としては地域医療支援病院、がん診療連携指定病院の立場を守り、急性期医療、がん治療にさらに磨きをかけたいと考えます。地域の住民ならびに医療機関の皆様に一層信頼され、愛される病院を目指して参りますので、本年もよろしくお願ひ致します。



リハビリ通信 第54回

心不全

1、心不全とは

心臓は、酸素や栄養を含む血液を全身に送るポンプの役割がありますが、心不全は「心臓が弱りポンプの働きが低下した結果、息切れ・呼吸困難・むくみなどの症状が出現した状態」のこと。

きちんと治療しないと、しばしば再発を繰り返して、徐々に進行する病気で。

2、どんな治療をするの？

- ① 症状を軽減する治療：服薬や酸素療法など
- ② 原因の治療：手術やカテーテル療法など
- ③ 心筋や血管の保護：服薬、食事療法、運動療法、禁煙
- ④ 悪化の予防：水分や塩分の管理、過労防止など

3、予防と運動

運動は心機能、自律神経の働きを改善し、筋力や筋量が増加するだけでなく、血行も良くなり身体の動き

が良くなります。

運動時間は1日30〜60分を2回に分けて行うところから始めましょう。頻度は週3回から徐々に増やして行きます。

① レジスタンストレーニング

◆ 椅子座位：もも上げ、膝伸ばし

◆ テーブルや壁に手を付いた状態：椅子からの立ち上がり、背伸び

◆ 1セット 息を切らさずゆっくりと、左右交代に1セット10回、1日に2〜3セット

② 有酸素運動

お散歩や自転車漕ぎ、趣味で行っている運動でも構いません。自分で1分間脈を測り、脈拍が110〜130回を目指します。少し楽に続けられる程度で軽く息が弾み汗ばむ程度が適当で、息切れや息苦しさがある場合は頑張りすぎですので休憩しましょう。

治療経験がある方や不整脈がある方は医師と相談し、適切な運動処方（必要な運動や運動量を指示してもらうこと）が大切です。また、食事療法やストレスコントロールも重要です。

多くの予防法は類似点も多く、習慣的な予防に繋がります。少しずつ始めてみませんか？

リハビリテーション科

中橋 真弓



第2事業部

★ こんな時だからこそ、マザーホーム体操教室!! ★

複合型施設マザーホーム戸室は、サービス付き高齢者向け住宅・訪問看護ステーションもみじ・看護小規模多機能型居宅介護事業いわしぐも、多機能型事業所にじいろの複合型施設です。

訪問看護ステーションもみじでは、ご自宅での療養生活を支援するため、お住まいに訪問し、小児・精神・難病・ターミナルなど幅広い疾患や年齢層を対象とし看護を提供しています。24時間体制により、夜間や休日の緊急対応や、かかりつけ医師と連携することで、医療ケアが必要な方やご自宅での看取りまで対応可能です。もみじは、複合施設内の看護小規模多機能型居宅介護事業いわしぐも、多機能型事業所にじいろと一体型の看護を提供することで、きめ細かい対応をしています。

先日、訪問看護ステーションもみじ主催で、昨年度も実施したサービス付き高齢者向け住宅にお住

いの方への月2回の体操教室を再開しました。新型コロナウイルス



の感染を恐れ、必要以上に外出を避けて家に閉じこもりがちになってしま方も多いでしょう。元気でい続けるための予防的なお手伝いも訪問看護・リハビリの大切な役割でもあります。室内換気をし、マスク着用と手指消毒をしていただき、体温測定・体調確認をした後、理学療法士から指導される自宅でもできるストレッチをします。

これからもお住まいの方同士の親睦と、体も心もほぐしていただける時間になれば嬉しいかぎりです。

訪問看護ステーションもみじ

所長 今堀 亜紀

がん相談支援センターをご存じですか？



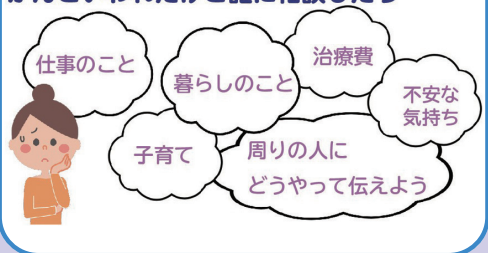
がん相談支援員 がサポートいたします

がん相談支援センター
046-229-2552
まずはお気軽にお電話ください



社会医療法人社団 三聖会
東名厚木病院

がんといわれたけど誰に相談したら・・・



仕事のこと
暮らしのこと
治療費
不安な気持ち
子育て
周りの人に
どうやって伝えよう

がん相談支援センターは、がん診療連携拠点病院、県がん診療連携指定病院、および小児がん拠点病院に設置されており、がん専門相談員が患者さんご家族のがんに関する様々な質問や相談にお答えする窓口です。当院では、専任の看護師とソーシャルワーカーが対応しています。

どの病院にかかっているかどうかに関わらず、どなたでも無料で利用できます。

当院は2020年に県央地区で初めて神奈川県がん診療連携指定病院となりました。

がん相談の直通電話も設置し、通院中の患者さんに限らず、市内外からのお問い合わせにも対応しています。匿名での相談も可能です。

相談は、病気のことや療養生活、緩和ケアについて、経済的な補償やお仕事についてなど多岐にわたったご相談が寄せられています。医療機関や行政等、関係機関とも連携して相談にあたっています。患者会のご紹介もしています。

どこに聞いたらいいかわからないことや不安に思うこと、迷うことがあればお気軽にまずはご相談ください。現在はコロナ禍でなかなか集合研修や、交流会が開催できない状況にありますが、近くWEBを活用したオンラインの企画等も検討しています。当院のホームページなどを是非ご確認ください。

がん相談支援センター

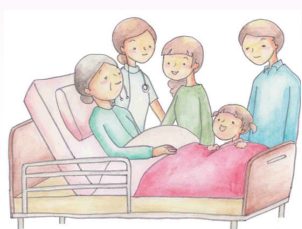
がん総合外来

Vol.4

緩和ケア

緩和ケアとは、がんに伴う患者さんご家族の身体的、精神的つらさを緩和する医療です。患者さんの生命・生活の質を大切に、少しでも自分らしい日々を送ることが出来るように、支援をすることです。

当院では緩和ケア外来を開設しており、通院の



患者さんご家族の様々な苦痛を和らげる治療・ケアを提供しています。診療時間は毎週月曜日と木曜日の午

前中で予約制となっています。

また、通院が困難となった患者様に対しては、訪問診療も行っています。住み慣れたご自宅で、ご本人のペースに合せながら病院と同じような緩和ケアを受けることが出来ます。訪問看護、訪問介護、訪問入浴などサービスを調整し、連携を取りながら、自宅での生活を支援しています。

今後も、患者さん、ご家族に寄り添った支援が出来るよう努力を重ねていきたいと思っています。

がん総合外来 松山

令和2年 歳時一覽

1	<p>主な院内行事</p> <p>特別養護老人ホームはなの家とむろ 開設8周年 愛川クリニック 開設7周年 介護老人保健施設なでこの里リハビリ ひらつか 開設2周年 2019年度褥瘡セミナー 「創傷治療 ～最新のトピックス～」</p> <p>院内感染対策講演会 「周術期感染症対策－最近の知見－」</p> <p>BLS研修 東厚会秋冬旅行</p>	<p>講師：埼玉医科大学病院 院長補佐 形成外科 教授 市岡 滋 先生</p> <p>講師：富山大学大学院 医学薬学研究所 消化器・腫瘍・総合外科 助教授 澤田 成朗 先生</p>
	<p>とうめい厚木クリニック 開院18周年 Yangon Japan Medical Centre 開設1周年 2019年 東名厚木病院 摂食嚥下研修④ 「患者（利用者）主体の食事介助！明日から実践できる食事介助のイロハ」</p> <p>NST勉強会 「急性期病院における栄養管理の重要性」</p> <p>イブニングセミナー 「発熱と発疹を伴う疾患について 隔離はどうする？」</p> <p>防災訓練・災害対策訓練 臨床病理検討会 ICLS研修</p>	<p>講師：特定医療法人研精会食支援プロジェクト推進本部長／稲城台病院 食支援センター長 芳村 直美 先生</p> <p>講師：東邦大学医療センター大森病院 栄養部部長 鷲澤 尚弘 先生</p> <p>講師：金田 麻子 医師</p>
3	<p>訪問看護ステーションもみじ 開設21周年 とうめい綾瀬腎クリニック 開設3周年 初期臨床研修修了式 中途採用者オリエンテーション ICLS研修 BLS研修</p>	
4	<p>訪問看護ステーションさつき 開設25周年 南毛利地域包括支援センター 開設14周年 マザーホーム戸室 開設4周年 神奈川県がん診療連携指定病院 指定 新入職員オリエンテーション BLS研修</p>	
5	<p>全館停電検査 BLS研修</p>	

6	<p>東名厚木病院 開院39周年 東名厚木メディカルサテライトクリニック 健診センター 開院28周年 透析センター 開設34周年 イブニングセミナー 「肝臓の働きと病気」 献血 ICLS研修</p>	<p>講師：玉置 道生 医師</p>
7	<p>中途採用者オリエンテーション BLS研修</p>	
8	<p>居宅介護支援センター 開設21周年 イブニングセミナー 「糖尿病と抗癌剤治療」 Thank you ロマンسカー 病院沿線を通して BLS研修</p>	<p>講師：堀 健一郎 医師</p>
9	<p>介護老人保健施設さつきの里あつぎ 開設22周年 医療安全講演会 「Never Events：起きてはならないこと ～誤認防止を考える～」</p> <p>BLS研修</p>	<p>講師：公立大学法人横浜市立大学付属病院 医療の質・安全管理部長 菊地 龍明 先生</p>
10	<p>イブニングセミナー 「リハビリ専門職の役割」</p> <p>献血 ICLS研修 ピンクリボン月間</p>	<p>講師：岩瀬 彰子 理学療法士・鈴木 直昭 作業療法士・八木 美香 言語聴覚士</p>
11	<p>医療安全講演会 「患者安全」</p> <p>2020年 東名厚木病院 摂食嚥下研修① 「『安全に食べる』に繋がる姿勢の調整」</p> <p>中途採用者オリエンテーション BLS研修 ICLS研修 三思会活動発表会</p>	<p>講師：上尾中央総合病院 情報管理特任副院長 長谷川 剛 先生</p> <p>講師：古屋 一樹 作業療法士</p>
12	<p>新横浜メディカルサテライト 開院5周年 イブニングセミナー 「当院で行っている神経ブロック（手術麻酔）」 防災訓練 BLS研修</p>	<p>講師：王子 盛嘉 医師</p>

かけはし 登録医紹介

あらかわクリニック

vol.34

《所在地》

〒243-0201
厚木市上荻野1164-1
上荻野郵便局2F
TEL:046-241-1616

院長 新川 恒夫



ヤンゴンの三思会設立の診療所にて撮影
(新川:右から2番目)

来し方 行く末

厚木市上荻野に開業して32年になりました。

医師になって46年、医師になってからの大半を厚木市で働いたことになりました。自分が医師に

なった頃の開業医は、専門外の病気であっても診るといのが当たり前で、看板に内科と掲げてあっても、実際には簡単なものであれば外科的な処置も行っていました。自分も病院の当直当番の時には、鼻血が止まらない、関節が脱臼した、百円玉が喉に引っ掛かったなど、種々雑多なケースに遭遇し、その都度何とか対処してきました。

そのおかげもあってか、飛行機内、新幹線車内で急患が発生しドクターコールがかかった時などには積極的に出向いて、診察するようにしております。

開業当初から間口を広くして、いろんな病気に対応するようにしておりましたが、昨今の医療機器の進歩は目覚しく、一開業医の力だけでは各種疾患に対し充分に対応できない事も多いと力の限界も感じておりました。その対策として、最近では病院の機能をフルにお借りして自分の日々の診療を補完していくというやり方に変えてきております。

以前同窓の桐山院長(当時)に「困った時の東名病院頼み」という言葉を使ったことがありますが、「困らなくても気軽に御相談下さい」と返され、心強く思ったことがあります。

これからも病院の最新の機能をお借りして日々の診療に励んで行きたいと考えております。

患者さんの声

～ご意見箱から～

● 感謝のお言葉

家族が手術の為、来院しました。受付で待っていていたら、「誰かお待ちですか」とスタッフの方が声をかけてくださり、2Fの手術待ちのラウンジ待っていたら、執刀医の医師がわざわざ「これから手術をはじめます。終わるのは...。」と丁寧に説明し、あいさつしに来てくださり、感謝しました。コロナで面会制限などありますが、病院の対応、医師の心遣い、全て行き届いていて、素晴らしいと感じました。

(動線)を分けないと意味がないと思います。ダイヤモンドプリンセス号でもこの分離が曖昧で多くの感染者が出ています。

①ご指摘の通り、当院では通路(動線)の分離は建物の構造上、難しい面もございますが、厚生労働省、神奈川県、神奈川県の保健所の推奨する感染対策基準に基づき対策を行っております。来院される皆様には、入口での検温や手指消毒など感染対策にご協力いただき感謝しております。ご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

● ご意見

発熱者を分離するなら入室前から

協力のほど、よろしくお願い致します。



ふるさと巡り

第1回

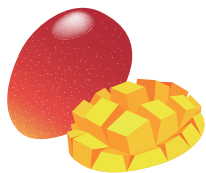
私のふるさとは、九州 宮崎です。宮崎と言えば、太陽のたまごと言われるマンゴー、チキン南蛮、霧島焼酎など全国的に有名になり、チキン南蛮や霧島焼酎はコンビニや居酒屋でも見かけるようになりました。

実家には88歳になる母がいます。

今時珍しくもない単身・独居でADLは自立しており介護サービスを受けていない高齢者です。子供や孫に迷惑をかけないようにと人一倍健康に気を配り元気に過ごしています。実家に帰る度に、母の手作りの料理を食べ一緒に布団を並べ共に語り、日中は近所の温泉で背中を流し合う時間を過ごしました。

数年前に帰省した際には、一緒にちまきを作りました。初めてのちまき作りに右往左往しながらも母との久しぶりの共同作業でした。今年にはコロナ禍で帰省していません。病院で働く娘のことを心配し帰省しなくて良いよと言ってきています。顔が見られず寂しい思いもしています。実家の近くに住む私の妹からの動画や、電話で互いの近況を報告しあっています。コロナ禍が落ち着き安心して帰省できる日がくる事を願っています。

竹田 英子



マンモグラフィーサンデー



東名厚木メディカルサテライト健診センターで、10月18日(日)に「マンモグラフィサンデー」が実施されました。

「マンモグラフィサンデー」とは、仕事などで病院を訪れにくい女性のために、日曜日(10月の第3日曜日)に日本全国どこでも乳がん健診を行うことができるよう、日本乳がんpinkリボン運動の呼びかけにより、協賛する全国の健診機関等で実施されている取り組みです。

同センターでは2009年からスタートし、今年で12回目になります。今年はコロナ禍であるにもかかわらず多くの予約があり、11月8日(日)に日程を追加し実施したことから、乳がん検診への関心の高さがうかがえました。

女性向けイベントということで、施設内にバルーンやリボンで装飾を施し、華やかな雰囲気を出したほか、乳がんに関する映像を待合室のモニターで放送したり、資料コーナーを設置し、知識を深めてもらうための取り組みも行いました。

また、当日は受付から検査、問診まですべて女性スタッフが対応し、安心して検査を受けられるよう配慮されていることもポイント。利用者アンケートでも「女性スタッフのみで安心」との回答を多くいただいています。

毎年マンモグラフィサンデーを利用しているリピーターも多く、受診者のニーズに応える取り組みが評価されています。

気になってはいるけれど、忙しくてなかなか検査が・・・という女性の方も多はず。次回のマンモグラフィサンデーは、ぜひ受診してみたいと思います。



働く仲間

入職／平成12年4月1日
氏名／**稲葉 奈津子**
看護部 3号館3階 ケアワーカー



私が入職した時は2号館までしかなかった病院も、今では4号館まで広がり大きくなり、病棟も増えました。

入職時は整形外科病棟に配属となり、ケアワーカーは3人でした。病棟全体のケアワーカーの人数も皆、知り合いというくらいの人数だったのが、今では人数も増え知らない方も多くなりました。同じ制服を着ていないと分からないくらいです。

以前、一緒に働いていた仲間が看護師になって一緒に働くという事も20年間の中でありました。

仕事の内容も20年前とは色々変わっていききました。変わらないのは患者様の身の回りのお世話をすることです。色々な患者様へ安全に生活を送れるように環境を整え、入院生活が少しでも快適になるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。

20年間で経験してきた事を活かし、一生懸命取り組んでいきます。

入職／令和2年3月1日

氏名／**植木 悟**
医事課



元々他業界の営業職として勤務していましたが、今年の3月に中途採用で入職致しました。業界も職種も異なる所から入職したこともあり、まだ戸惑う事もありますが、先輩社員の方々から日々多くの事を学びながら業務に励んでいます。

身内に看護師、看護助手、薬剤師、理学療法士と医療業界で働いている者が多く、自然とこの業界に興味を持ちました。

実際に勤務始めてみると、一人一人の患者様に対して様々な専門職種の方から医療の提供があり、これまで私はここまで多くの部署が関わる仕事をした経験が無く、良い医療を提供する為には部門間の連携が不可欠だと日々実感しています。それと同時に患者様やそのご家族と接する機会も多く、直接お礼を伝えていただく事もあり、仕事のやりがいとして感じております。

私も東名厚木病院の一員として、1日でも早く力になれるよう日々励んでいきたいと思っています。

編集後記



●鎌倉鶴岡八幡宮で菊の品評会が開かれていました。どの菊も見事でしたが、特に目を引いたのがこの素敵な菊です。(クッキー3)



●イベントもなく季節感のない日々を過ごしていたら、いつの間にか冬になっていました。(おちやがり)



●日常生活の中で自然に外出し、季節を感じることでできていましたが…2年前の写真を見て懐かしく感じています。(すみれ)



●息子とズーラシアへ遊びに行ってきました!動物園ならではのオーナメントがとても可愛かったです♪少しですがクリスマス気分を味わえました。(バナ男)



●水引の生産が盛んな長野県飯田市で買った水引のお正月飾りを飾ります。その前のクリスマスに飾ったリースも水引でできています。(里うさぎ)



●今年も鬼柚子がたくさん育ちました。どんな環境でもしっかり実る柚子たちから毎年元気をもらっています☆(豆大福)



ペットのはなし

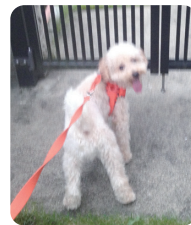
その64



我が家にはトイプードルがいます。弟の酪農高校進学を機に、家でも動物に触れ合えるようにと迎え入れることになりました。名前は、私と母がジャニーズの嵐を好きなこと、ケージ内でも楽しそうに走り回っている姿が印象的だったので嵐(ラン)と名付けました。

7歳の今でも出会った頃と変わらず家中走り回り、隙を見て盗み食いをしたり(スーパーの袋から生肉200gを盗み出しすべて食べてしまったことも…)、散歩に行くと嬉しすぎてうさぎ跳び歩きになってしまう元気いっぱいな面もあれば、掃除機をかけるとへっぴり腰になってしまうビビりな面もあってりと、感情豊かなとても可愛い子です。自分のことを人間だと思っているようで、その分手がかかりますが一緒に暮らして笑い耐えない毎日です。

薬剤科 杉浦



各施設の連絡先

東名厚木病院

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-228-0396
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>

とうめい厚木クリニック

〒243-0034 厚木市船子237
TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935
<https://www.tomei.or.jp/clinic/>

透析センター

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-229-1939
<https://www.tomei.or.jp/toseki/>

愛川クリニック

〒243-0303 愛川町中津2035-1
TEL.046-284-5225 FAX.046-284-2772
<https://www.tomei.or.jp/aikawa/>

とうめい綾瀬腎クリニック

〒252-1107 綾瀬市深谷中1-8-20
TEL.0467-70-1115 FAX.0467-70-2115
https://www.tomei.or.jp/ayase_clinic/

東名厚木メディカルサテライトクリニック 健診センター

〒243-0034 厚木市船子224
TEL.046-229-1937 FAX.046-227-0677
<https://www.tomei.or.jp/tams/>

新横浜メディカルサテライト 健診センター

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-11 金子第一ビル4F
TEL.045-471-3855 FAX.045-471-3856
<https://syms.tomei.or.jp>

介護老人保健施設 さつきの里あつぎ

〒243-0034 厚木市船子322-1
TEL.046-227-1188 FAX.046-227-0033
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/roken/>

介護老人保健施設 なでしこの里 リハビリひらつか

〒254-0016 平塚市東八幡4-19-3
TEL.0463-23-7045 FAX.0463-22-4187
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/nadeshiko/>

厚木市南毛利地域包括支援センター

〒243-0039 厚木市温水西2-27-38 カーネーションパーク1階
TEL.046-250-1108 FAX.046-250-1105
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/houkatu/>

訪問看護ステーション さつき

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-228-6556 FAX.046-228-6557
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/satuki/>

訪問看護ステーション さつき サテライト愛川

〒243-0303 愛甲郡愛川町中津3529 スズキビル2F 202号室
TEL.046-284-6677 FAX.046-228-6688

東名厚木病院居宅介護支援センター

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-227-6557 FAX.046-228-6557
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/kyotaku/>

複合型施設マザーホーム戸室

〒243-0031 厚木市戸室1-29-1
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/motherhome/>

1F 多機能型事業所「にじいろ」

TEL.046-222-7772

看護小規模多機能型居宅介護事業「いわしぐも」

TEL.046-222-7773

2F 訪問看護ステーション「もみじ」

TEL.046-294-1177 FAX.046-294-1178

3・4F サービス付き高齢者向け住宅「マザーホーム戸室」

TEL.046-222-7755 FAX.046-222-7756



●無料送迎バスを運行しています。

詳しくはホームページの無料送迎バス時刻表をご覧ください。
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>